

# テーストリフレッサー & スイートブースター

## N-テーストリフレッサー

### 効果

- 高甘味度甘味料にある不快な後味の呈味改善
- 塩分を含めミネラル等の添加時に生じるエグ味や後引きの低減
- 生乳や油脂分を含む製品の後味に残るファット感(ベタ付き)を低減
- 低価格でありながら少量で効果を奏し使用目的改善以外に食品の味に影響を与えない

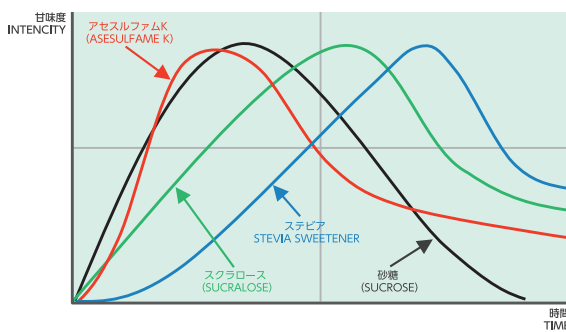
## (N-)スイートブースター

### 効果

- 高甘味度甘味料では再現出来ないシヨ糖様のボディ感の付与(増強)
- 高甘味度甘味料では再現出来ないシヨ糖様の風味増強

### 合成甘味料の糖度を砂糖 Brix7.0 に合わせた時の甘味の質・バランスの比較

The Quality and Comparison of balance of Sweet taste when the Sugar content of an Artificial Sweetener is fixed with Sucrose Brix7.0.



### 各甘味料の違いと特徴

The Characteristic of the flavor of each sweetener

#### シヨ糖

- 甘さにやわらかなふくらみがある。
- 白いやさしい甘さで、ミドルの甘さは一定のスピードで消えていく。

#### アセスルファミンK

- 砂糖のようなあたたかい甘さではなく冷たい甘さ。
- 前半に甘さがあるがしばらく尾を引き切れず、舌残りが続く。
- 飲み込んだ時の甘さは砂糖と似ている。ただし甘苦い感じが残る。

#### スクラロース

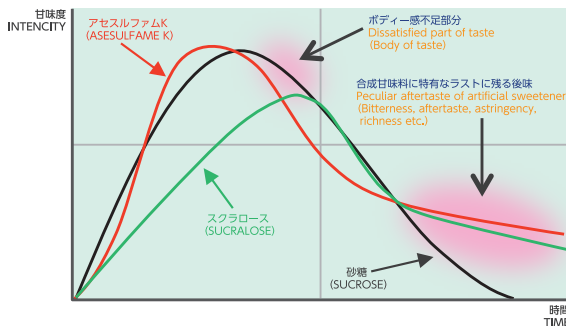
- 砂糖に近いが甘さの広がりはなくかたいイメージ。
- 甘さの質は砂糖に近いが、砂糖程の甘いトップの広がりはない。
- 甘さの質が液糖的、ピークが砂糖より遅く感じベタつきが後味に残る。

#### ステビア

- 甘味の出現はゆっくりだが、ミドル～ラスト以後も舌に甘みがあり、一番切れが悪い。
- ミドルの後半あたりにピークがある、良好な甘さではない。
- ミドルからラストにかけて甘みが出て、ラストに苦みを感じる。

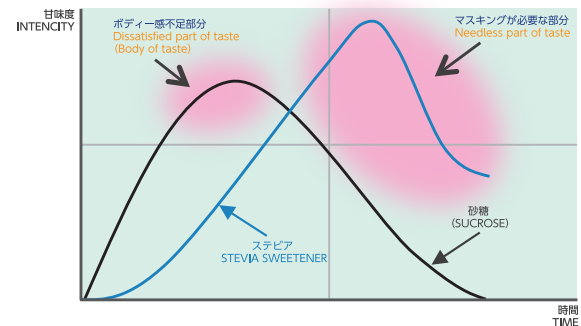
### 現在の合成甘味料の使用法

Taste Curve of Artificial Sweetener and Sucrose



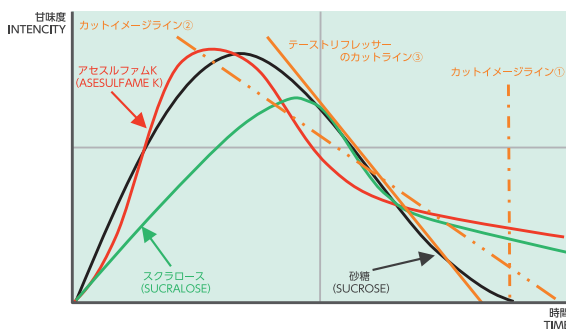
### ステビア単独で使用した場合のマスキングイメージ

Taste Curve of Natural Sweetener "Stevia" Rebaudioside A



### マスキングを使用した合成甘味料の使用法

Taste Curve of Artificial Sweetener that added NPC "REFRESHER"



#### カットラインイメージ① ▶ 通常理想と考えられる後味のカットライン

このカットラインではトップやミドルにほぼ影響なく後味のマスキングが可能。しかしながら、急激なマスキングは目標としているシヨ糖を使用した製品とは違い呈味感・ボディ感が急に無くなるため違和感を感じる。

#### カットラインイメージ② ▶ 一般的な後味のカットライン

なだらかなカットラインが特徴。ラストに感じる後味のマスキング効果を強く求めると製品中に使用するその他の香りのトップまで影響を及ぼしてしまう。

#### カットライン③ ▶ テーストリフレッサーのカットライン

今までにはないカットライン。カットする傾斜がシヨ糖の甘味曲線の傾斜に類似。その為、しっかりとしたマスキング効果を求めながらもシヨ糖様の自然な後味となります。また、今までのカットラインよりも傾斜が立っている為にトップに与える影響が少ない。

### ラインナップ

テーストリフレッサー：水溶性タイプ / 油性タイプ / 粉末タイプ (粉末品を除きナチュラルタイプでのご用意となります)

スイートブースター：水溶性タイプ / 油性タイプ / 粉末タイプ (粉末品を除きナチュラルタイプでのご用意も可能です)



NAGAOKA PERFUMERY CO., LTD.